

平成 30 年度 第 9 回ひがし野町内会役員会議事録

2018/12/2 書記 熊谷

開催日時：平成 30 年 12 月 2 日（日）10:30～11:30

開催場所：守谷小学校 コミュニティホール

【配布資料】

資料-1 「2016 年度 あわんとり 会議設営イメージ」

資料-2 「第 2 回ひがし野広報部会協議内容について」

資料-3 協議事項①の「まちづくり協議会に対する市からの提案について」関連資料（3 冊）

「まちづくり協議会に関する経緯」（1 冊）「将来を見据えた地域づくりの考え方」（2 冊）

議長：川端副会長

欠席者：1-3 班、1-7 班、3-4 班、3-7 班、前瀧会長、久保田副会長

■議事内容（☆・・・決定事項、敬称略）

1. 冒頭挨拶（副会長：川端）

（省略）

2. 連絡事項

① 環境美化の日を終えての連絡事項（副会長：木和田）

■ 事故、怪我もなく無事終わりましたが、何か気づき・懸念等があったか？

- 回収業者は、何時に来るのか決まっていますか？
→回収は午後 3 時迄と聞いたことがあるが、開始時間については別途確認する（副会長）
- 家庭の電池類の回収についてはどうなっているか？
→以前は回収していたが、何年前かに、回収はなしになったと聞いた（ご意見）
→再確認して来年度に引継ぐようにします（副会長）☆
- ネコの糞害等についてどうしたらよいか？
→それ以外でも車に乗ったり、家を通ったり、尿・フンの臭いなどある
→猫に限らず、犬でもフンを中に埋めてしまう人がいて問題。
・餌付けの回覧等での注意喚起は可能なので、今後回覧等で周知考えます（副会長）☆

② 各専門部会より活動報告（副会長：川端）

■ 防災イベント（畠中さん）

- 消防署と話をし、いくつかの訓練等をお願いしているところ。消防署側が来れる時間帯が決まっている（13 時～15 時半など）防災イベントとあわんとりを同時と思っていたが順番になっているようだ。
- 時間関係
 - 暗くなってしまうため終了は 14 時半を目処に消防署と調整を行う予定
- 場所関連
 - あわんとりのテント、やぐらは事前に設置してしまうので消防署と他の配置について決める必要がある。濃煙体験の車、起震車、消防関係車の駐車位置についてもレイアウトを検討している

➤ その他

- 防災部会の方以外でも当日手伝ってもらえる方を募集します。また回覧やレイアウト等について交流部会（あわんとり）と本日相談予定。

■ 交流部会（川端副会長）

- 一昨年に実施した「あわんとり」（資料-1）を参考に防災部会と進めているところ。ひがし野町内会のイベントとしてスタッフ募集致しましたが2名の方のみでした。
- 前回のスケジュールを参考にすると、当日含め、事前作業等もあるので部会メンバ以外の班長さんにも、実行メンバーとしてご協力をお願いしたい。
 - 作業としては前回開催を参考にすると、
 - 午前は、午前10時集合し設営準備。12時終了。各自昼食。
 - 午後は、13時に班長集合し、16時撤収予定。各班長の方々は、当日の午後13時からご協力（イベント開催）お願いします。

（意見等）

- 火をつけるまでが前回はかなり待った記憶がある。点火後に防災イベントだったのでお飾り等を持ってきてかなり待たされた。
 - 前は14時10分に着火でしたが、ご祈祷の時間など考慮したい（部会）☆
- 中止の判断はどうか？
 - 今後詳細を詰めていきます（部会）☆

■ 広報部会

- 現在、HP（ホームページ）からの問い合わせが特定の方（2-6 豊島さん）にしか届いておらずそのメールアドレスも2019年4月に終わってしまうため今後どうするか検討中。1月もしくは2月の役員会で報告予定。

（意見等）

- 防災部会でも緊急・災害時の電話やメールの連絡網（班長とその先の班員）整備をどうするかあった（特に個人情報の扱い）
 - これまでも使っていたメールアドレス等もあったが仕切り直しで考えてみます（部会）

3. 協議事項

- ① まちづくり協議会に対する市からの提案について（ハッピーひがし野 亙理さん）＜3回目＞
資料-3の通り。「まちづくり協議会」に関する経緯と町内会の意見収集を行った。
→次回役員会（1月）で2意見を纏める（☆）
*本協議事項の意見等の簡易議事録は、別途記載しよう（最終ページ）
- ② 次年度町内会本部役員の募集について（川端副会長）
来年以降に次年度役員候補の方々にお願いしていくことについて次回役員会で話をします。
- ③ 1月13日（日）開催予定のあわんとり、防災イベントへの協力要請について
・前（12日（土））および当日（13日（日））午前と午後で各々参加可否を確認した
☆ 12日協力可能な班長（計8班）
（1丁目）5、10班（2丁目）4、6班（3丁目）8、9、13、14班
☆ 13日午前中から協力頂ける班長（計10班）
（1丁目）1、5、10班（2丁目）3、4班（3丁目）8、9、11、13、14班
☆ 13日午後参加できない班長（計2班）
（1丁目）なし（2丁目）1班（3丁目）10班

【その他連絡等】

- ・ 次回の役員会についても、今回と同じ場所にします（守谷小学校 コミュニティホール）

【次回（平成 30 年度 第 10 回）開催】

- (1) 日 時：平成 31 年 1 月 20 日（日）10:00～
- (2) 場 所：守谷小学校 コミュニティホール

（別添）まちづくり協議会に関する説明と意見交換（簡易議事録）

12/2 のひがし野町内会役員会にハッピーひがし野代表の亘理が出席し、まちづくり協議会に関して、前回に引き続き意見交換を行った。資料1を詳細に説明した。資料2・3は前回会議で市の HP で閲覧できると説明したもので、重要な内容を資料1に抜粋して説明し、詳細説明は省いた。

資料1 まちづくり協議会に関する経緯（前回、経緯説明の要請があったので整理）

P-1～4 時系列での経緯説明

P-5 「まちづくり推進条例」に「まちづくり協議会」が追記（H30/9/27 付改訂）

地域福祉活動計画は登録のみだったが、まちづくり協議会は認定制になり、市の定める条件に合わないと認定されない。

亘理コメント：市が協議会を統治・管理したいという考えの現れと理解。町内会・自治会は住民自治が原則であり、市からの命令はこれを壊すことになる。

P-6 資料2の重要部を抜粋

P-7～8 資料3の重要部を抜粋

P-9 まちづくり協議会への取組みに関する質問

資料2 将来を見据えた「地域づくり」の考え方

要点：1/14 シンポジウム時、市がプレゼンした。「地域コミュニティの担い手不足」・「財政状況の悪化」の課題を解決するのがまちづくり。地域のすべての町内会・自治会・子供会・ボランティアグループ・学校等すべてを含めて協議会としてまとめてほしい。

資料3 （冊子）守谷市のまちづくり協議会設立の提案

要点：1/14 シンポジウムでの参考資料で席上説明なし。P-1～7は財政に関する事実。P-8 以降に提案として『①「協議会型組織」として一本化・地域を包括的に運営します。②市との調整役を担います。』というキーが書いてある。P14にはまちづくり活動内容が「例」として書いてある。P-15では、協議会の体制が「一例」という書き方で書いてある。

亘理コメント：「例」は行政特有の表現で強制には見えないが、「こうやってほしい」という腹で書いていると理解。加えて、その他としてずるい表現だが、「市への提案・調整」が書いてある。

<役員会出席者の質問・意見 ⇒ 亘理回答のパターンで記す>

1. 市内地域ごとに協議会参加・不参加の足並みがそろわないとき行政はどう進めるのか？⇒地域福祉活動計画を発展的にまちづくり協議会に変えていく。地域福祉活動計画は H33 年度までの計画

- であり、従来通り地域福祉活動計画を進める地域と、協議会を作る地域が、しばらくは併行すると市は考えている。
2. 併行すると市としては手間が二重になる⇒地域福祉活動計画は、まちづくり協議会の中に含まれていくというのが市の提案。（回答不足のため追記：同地域内で併行することはないので手間は変わらないと私は考える。）
 3. コミュニティの担い手不足と財政状況の悪化という課題が市から提起されているが、市としての将来の課題（市がやること・地域へのお願い）がない。市長の期待効果（数値化）の回答がないのは無責任。「まちづくり協議会」は方策の一つ。⇒ご指摘の通りで、市にはポリシーがない。1年たった今でも効果のエビデンスが提示されていない。人員削減目標なども本来あるべきと私は考える。今までのハッピーひがし野のネガティブな反応はこれらが背景。
 4. みずきのが積極的のようだが、ひがし野と違いは？⇒歴史の違い。みずきのは30年以上の歴史を持つ団地で、65歳以上が確か半数くらい。この世代の町内会本部役員（年替わりではない）がリーダーシップを持ってやっている。「市のストーリーでのまちづくり協議会にはせず、まちづくりは町内会として行う」と表明している。ひがし野は地域で助け合いをするというモチベーションがまだまだないようだ。
 5. 町内会としてあわんとりや防災訓練などこれから取り組む必要がある課題がある中で、将来に向けた大きな課題をハッピーひがし野としてどれだけの時間を割いて取り組むのか？ ⇒町内会とまちづくり協議会が同じ課題を扱うという二重化は避けるべきで、複数町内会・自治会間共通の課題を扱うのが原則というのが市の考え。
 6. 市に、どういう意見を町内会として回答するのか？⇒P-9の質問に答えていただいた結果をもとに、ハッピーひがし野としての結論を出す。P-9への回答に際しては、役員各位が役割を持った立場から、1（2）（3）の選択をする場合、2項について「何らかの役割を果たすとす」という意識をもってほしい。なお、手元資料の表で△マークの後ろに、「各所属部門内」と書いたが「ハッピーひがし野企画イベントに協力」を追記してほしい。
 7. ハッピーひがし野での今までの協議結果を見る限り、インパクトのある新情報もない中で、役員会では「やりたくない」という結論しかないのでは？⇒この役員会での意見をいただきたい。ハッピーひがし野会議には前瀧会長が加わっているのだから、役員会での結論を2月のハッピーひがし野会議で表明していただく必要がある。
 8. この場でいただいた説明は市の代理人的な立場によるとしか理解できない⇒今までの事実を述べて、皆さんから手を挙げていただきたいと考えている。
 9. 全般的によくわからない⇒これ以上の説明はしようがない。
 10. 今後のロードマップは？⇒ハッピーひがし野の活動計画は4月発行の広報にある通り。ハッピーひがし野の次回2月の会議で協議会参加・不参加の最終決定をする際に、ひがし野町内会として今年度の結論を表明していただく必要がある。ハッピーひがし野の今までの議論では1（1）、あるいは（1）に限りなく近い（2）の方向。
 11. 不参加の場合の行政サービスへの影響は？⇒一般的住民サービスが変わることはない。個別課題は従来通り担当課に要請すれば対応してもらえる。ひがし野地域への変な烙印を押される可能性があるが、住民自治の考え方は守るべき。皆さんの合意があれば、市の意向に合わなくとも我々のやりかたでいきたい。
 12. 参加しない場合のデメリットは？：助成金がないこと。
 13. 助成金のメリットは大きいのでは？⇒市提案は下請的なものなので、私はやるべきではないと思っている。
 14. まちづくり協議会に参加すること自体が下請けなるといった感じはしないのでは？⇒市がやるべき調整を協議会が行うのは下請けである。ハッピーひがし野の現活動は自らの計画を実行しており、その事実はない。

15. 守谷地区全体一括ではなく、ひがし野だけ分離できないのか。新しい地区と古い地区を切り分けると、実現性が見えてくる。11/29の守谷地区実行委員会では各ブロック単独でいくという表明があった。Dブロックは2月の会議で決めると表明した。
16. 司会：2月の会議に向けて役員会で意見をまとめる。⇒今回まで3回役員会に出席しているが、1月の役員会はお任せするので、できれば（資料1）P-9の1（1）（2）（3）と2のストーリーでまとめてほしい。

以上

より良いひがし野の実現に向けてご意見・ご要望がありましたら、余白等を活用してご記入下さい。
各班長は役員会にて班内意見として説明致しますので、お手数ですが班名とお名前をご記入願います
（例：3丁目4班 ひがし野 太郎）